

改元で2銘柄の
日本酒を発売へ
飛驒・古川の酒造店

飛驒市古川町壱之町の渡
辺酒造店は、改元にまつわ
る日本酒を発売する。令和
になった瞬間にしばり始め
る「蓬菜 令和初しばり」



平成の最後にしばる「蓬菜 平成最後のひとしばり」[㊤]と改元後にしばる予定の「蓬菜 令和初しばり」の瓶＝飛驒市古川町壱之町で

と、平成最後の日にしばる「蓬菜 平成最後のひとしばり」の二銘柄で、予約を受け付けている。

ともに純米大吟醸原酒。

酒米には、初しばりは「山田錦」を、最後のひとしばりは地元産の「ひだほまれ」を使う。今月初旬から仕込みを始め、きれいな飲み口と優しい味わいに仕上げるといふ。渡辺久憲社長(五〇)は「素晴らしい令和になってほしいという思いを込める。国酒である日本酒で乾杯し、お祝いしてもら

いたい」と話す。

ともに七百二十ミリ入りで、初しばりは二千二百八十円(税別)、最後のひとしばりは二千百八十円(同)。二十日まで申し込みを受け付け、五月一日に全国に向けて発送する。[㊦]渡辺酒造店〓0577(73)0012 (浜崎陽介)